

身近な素材で奏でる

～身の回りの音素材探し～

組 学生番号：

氏名

ここでは、環境音に着目し、「聴くこと」と「奏でること」の往還を理解します。環境音を注意深く聴き取り、それをもとに奏でることを目指します。また、ICTの活用についても考えます。

1. 今、あなたがいる空間の音をよく聴いてみましょう

静かに目を閉じ、1分間、黙って耳に入ってくる“音”をよく聴きましょう。そして、聴こえてきた音を文字で書き表しましょう。

2. 学内のいろいろな場所の音をよく聴いてみましょう

- ♪ 20分間、学内のいろいろな場所（10ヶ所）の音を採取してきましょう。1ヶ所につき3～5秒程度の動画（または録音）を撮ってきてください。_____：_____までに戻って来ること。
- ♪ 音を採取する際、他の授業の邪魔になるようなことはしないよう気をつけてください。
- ♪ 複数で行動せず、1人で音採取をして来ること。
- ♪ 関係のない人の顔が映らないよう、気をつけてください（講義の声が入ることはOKです）。

No.	音を採取した場所	どのような音がしたか
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

3. 採取してきた音をつなぎ合わせてみよう（繋ぎ合わせた動画が何秒以上必要というような指定はありません）

採取してきた音を編集し、繋ぎ合わせてみましょう。採取した音をトリミングしてもよいです。繋ぐ順番は採取順にならなくてもよいです。繋ぎ合わせるアプリは自分が使い慣れているものでOK。